

# おじゃまします



## =オカリナの音色に誘われて=

## オカリナサークル風の詩

～千葉さん！ 教えてください～

土の笛、オカリナの音を聞いたことがありますか。

平成10年10月、生涯学習課が主催したオカリナ教室の受講者で作ったオカリナサークル風の詩は今年で20年を迎えます。有志で地域サロンや福祉施設でオカリナの優しい音色を届けています。今回、オカリナ奏者で楽曲制作から楽器制作まで行っている千葉稔さん（成田市在住）を、初めてお迎えして行う勉強会に参加しました。



オカリナの種類も沢山あります

1月13日（土）、オカリナ奏者宗次郎さんの演奏に感動し、オカリナを始めた千葉さんオリジナルの「光ゆらぐ朝」の演奏から始まりました。引越した朝の情景を想いながら作られた曲は朝の光や鳥のさえずりが浮かんでくるような美しい音色に包まれました。「シルクロード」や「白い幻影」「天空のオリオン」の演奏、大山先生とのコラボと続き、音楽室1はゆったりとした場になりました。

風の詩の皆さんが使っているオカリナは千葉さんが製作したもので、大山先生の尽力で今回の勉強会が開催されました。第2部は「千葉さん！ 教えてください」と題していろいろな質問に答えてもらいました。オカリナにはC管F管G管などいろいろな種類があります。千葉さんは吹いて気持ちのいい、強く吹きすぎないオカリナを作るよう心がけているそうです。手入れの仕方や吹き方など詳しく教えてもらい、穏やかな雰囲気の中終了しました。会員は現在20名。創設以来19年継続している会員が6人いますが、「先生といい仲間に恵まれ楽しく続けてきました。これからも続けていきたい」と話してくれました。3月のふれプラ祭りに向けてみんなで猛練習中です。今年、新しいことにチャレンジしてみませんか！  
オカリナサークル風の詩へのお問い合わせは 伊藤さんまで 95-0634



「コンドルは飛んでいく」練習中！



鈴木さんと大山先生のコラボ



優しい音色です



### ★お知らせ★

2月4日（日）  
さかえリバーサイド  
マラソンのため、住民  
活動支援センターは  
お休みします。

暮らしの手帳九十一より

今年、和風の月名を味わいながら過ごすのも面白いかもしれませんね。

二月は如月【きさらぎ】 寒いので着物を更に重ねて着ることから「着更着」、その音を中国の異称「如月」に当たると言われています。

一月は睦月【むつき】 家族や親戚が集まって睦まじく過ごす意味です。

弥生が春、卯月、皐月、水無月は夏、文月、葉月、長月は秋、神無月、霜月、師走は冬と言われています。陽暦では十二月、一月、二月が冬ですね。

和風月名とは旧暦の各月の名称です。今年の旧暦の元日は二月一六日です。旧暦（陰暦）を止めて新暦（陽暦）を決めたのは明治政府。明治五年十二月三日（旧暦）を明治六年一月一日（新暦）に変更し、明治六年が始まりました。

一年を  
和風月名（わふうげつめい）で

